

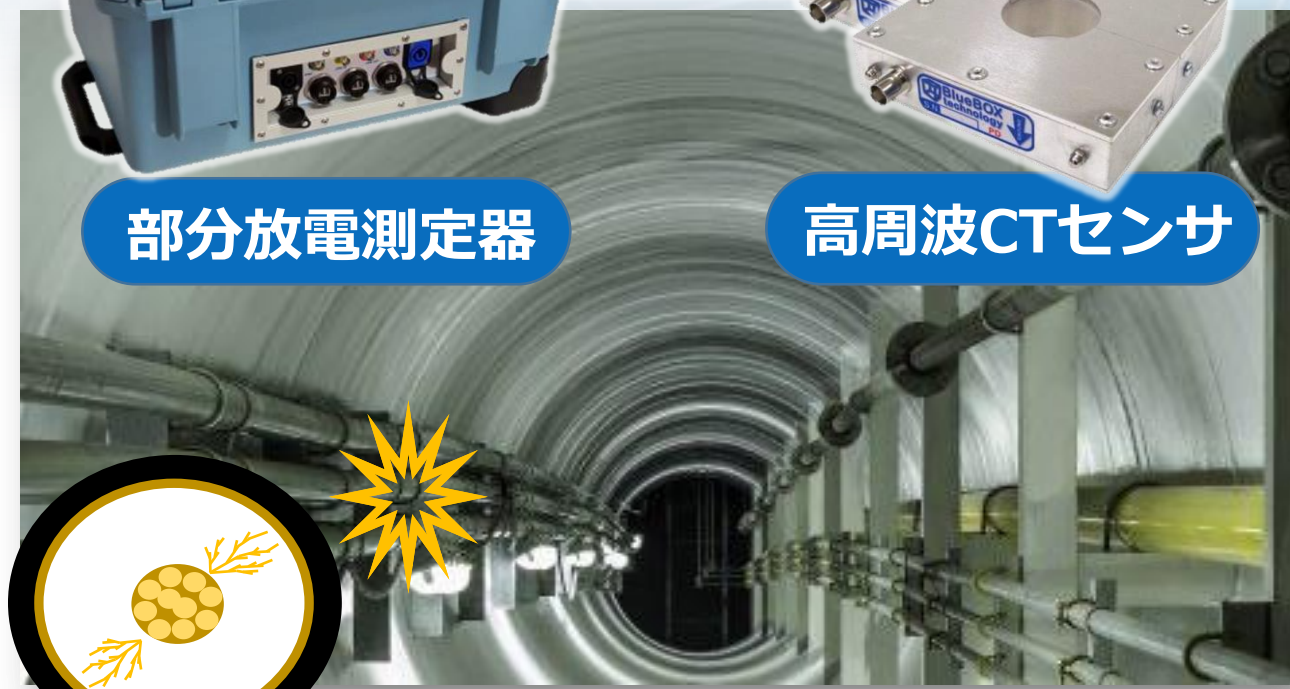
電力ケーブルの活線診断 部分放電法のノイズ問題を解決！



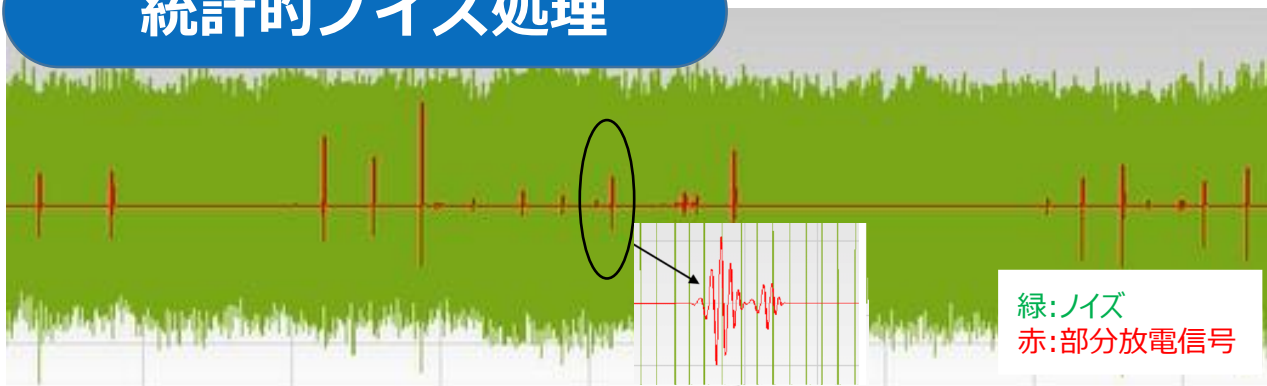
部分放電測定器



高周波CTセンサ

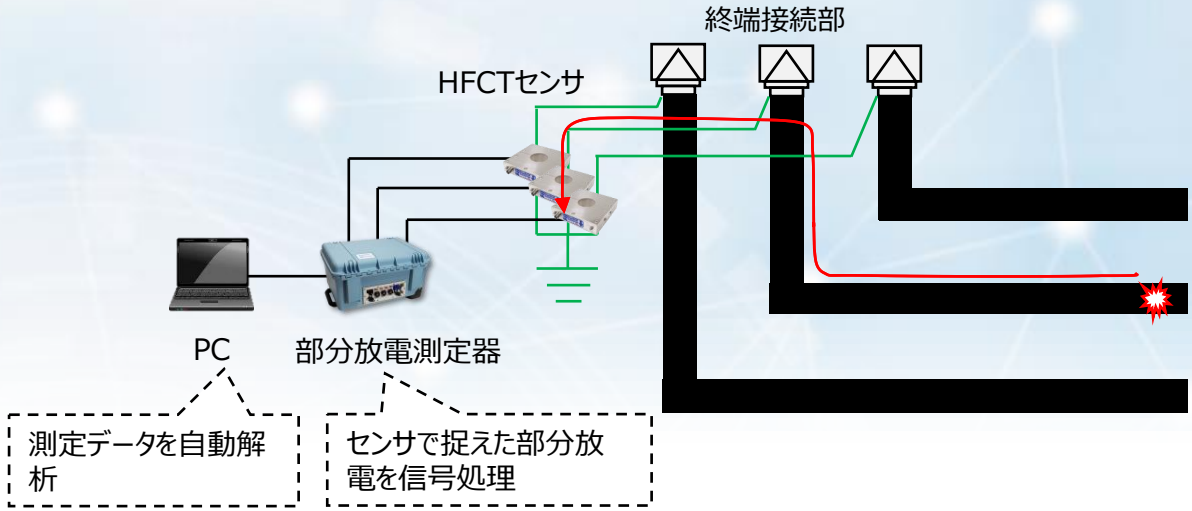


統計的ノイズ処理



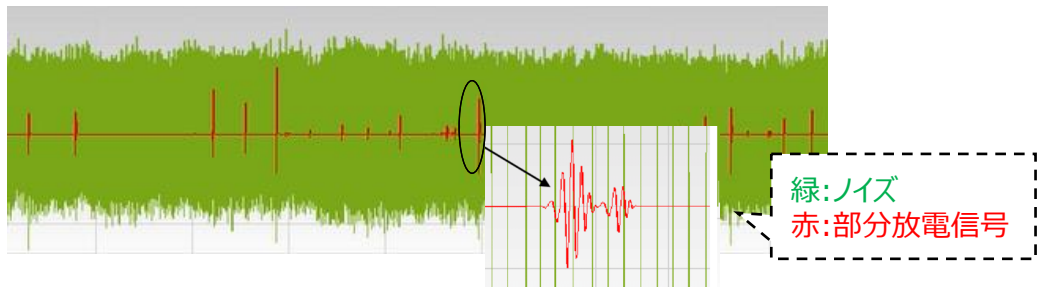
活線状態で絶縁診断

活線状態のケーブルに発生する部分放電を測定します。絶縁破壊の初期症状にあたる部分放電をとらえることで、問題の早期検知が可能です。



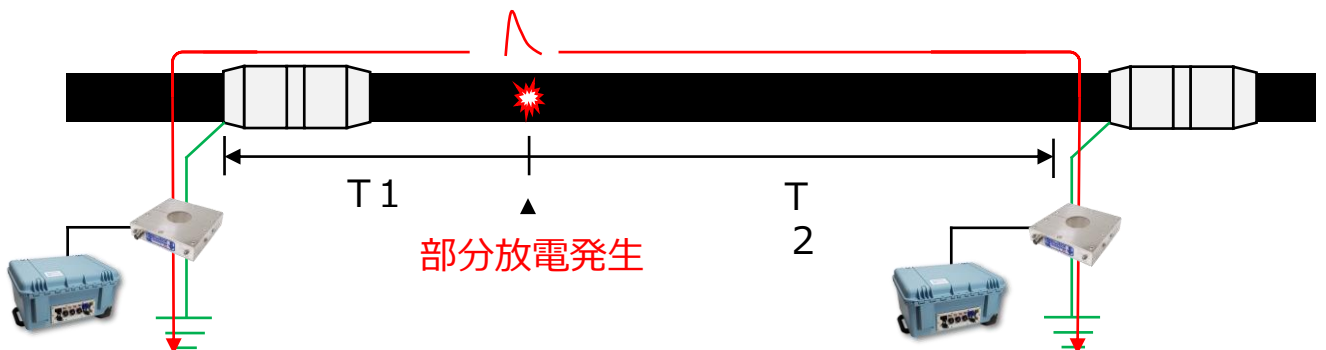
統計的ノイズ処理

部分放電法の最大課題であるノイズ問題を解決。測定した信号にウェーブレット変換を適用し、成分を統計的に分析することで、ノイズに埋もれる小さな部分放電信号も抽出できます。



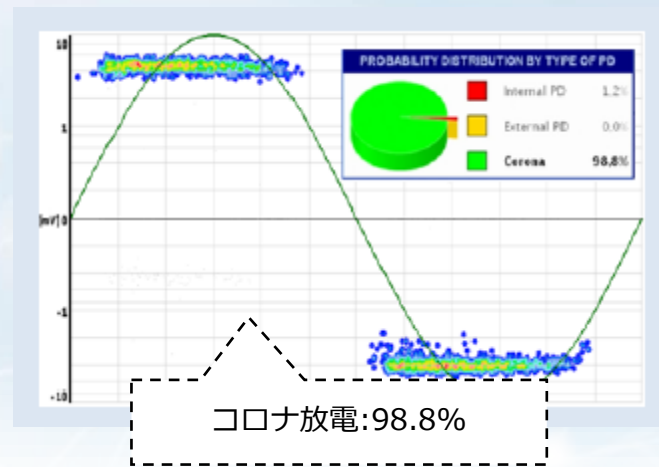
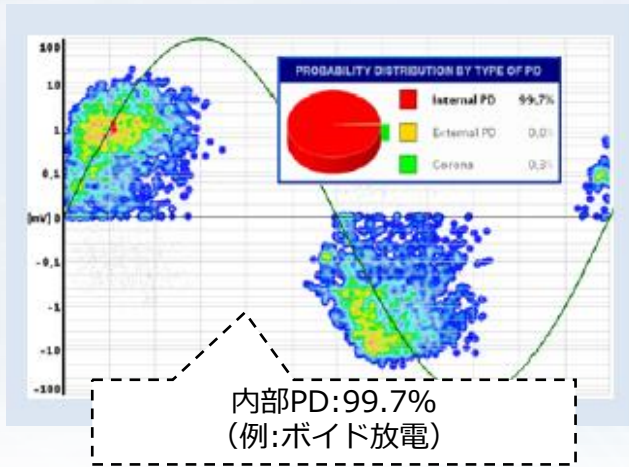
部分放電の位置標定

CTセンサに到達した部分放電信号の時間差を計算して、部分放電の発生位置を標定します。位置標定の精度は $\pm 10\text{m}$ となります。

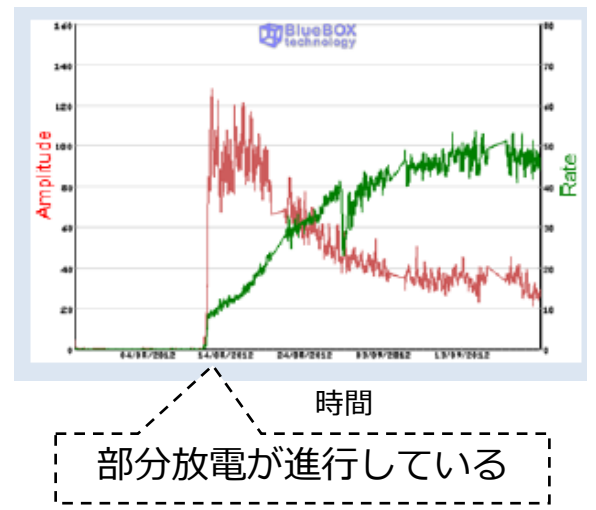
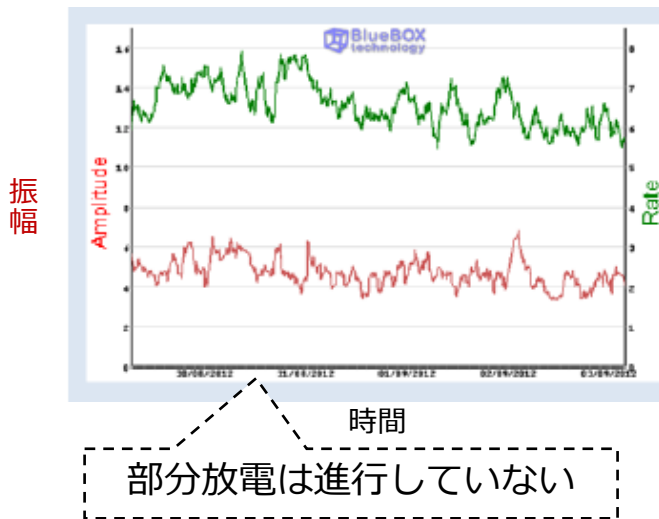


測定者による判断が不要

部分放電を自動判定するため、測定者による判断が不要です。

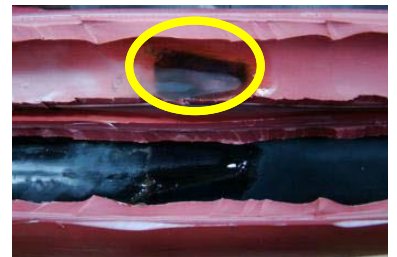
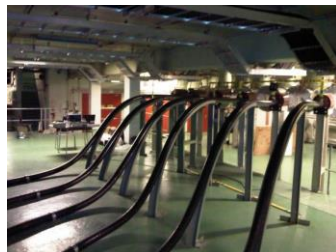


劣化進行の把握



測定対象・実績

1kV~500kVの電力ケーブルの測定が可能です。CVケーブル・OFケーブルの種類を問わず測定できます。世界で1000箇所以上の測定実績があります。



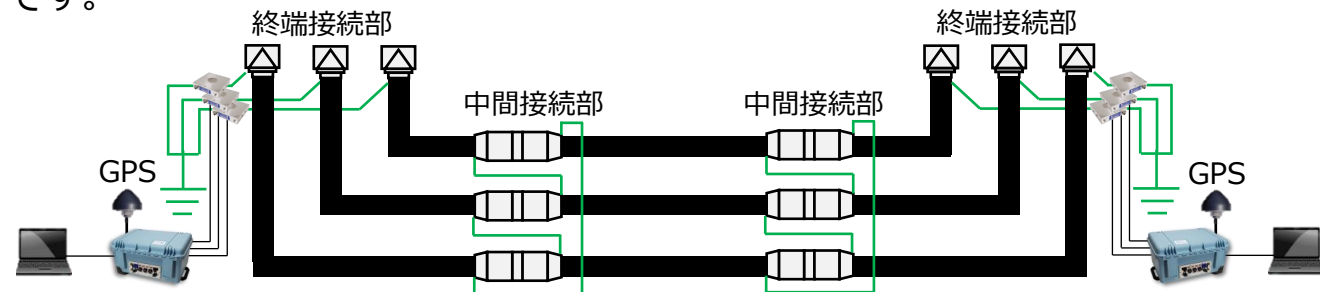
部分放電を検知

終端接続部に部分放電測定器を1台設置します。部分放電の有無を検知します。



部分放電の位置標定

終端接続部に部分放電測定器を2台設置します。GPSにより測定器の時刻を同期します。部分放電測定器で挟んだ区間において、部分放電の位置標定が可能です。



測定器の種類

部分放電モニタリングまたはスポット測定用途に応じたラインナップがあります。



MS-Portable



MS-Pico